

令和6年度 消防・防災訓練の報告

防火管理者 澤田 祥平

10月6日(日)に2024年度の「消防・防災訓練」を実施しました。前日から雨模様で、事前準備は一部変更などを余儀なくされましたが、当日は天候もなんとか持ち直し、大きなトラブルもなく無事全工程を終了することができました。

今年度は初めての試みとして、これまでの居住者・棟災害対策班を中心とした消防・防災訓練に加えて、新たに災害対策本部の防災訓練を実施しました。災害対策本部は、理事長を本部長に、管理組合と自治会の役員で組織され、「本部」「本部(分室)」「情報部」「救出・救護部」「防火安全部」「物資部」で構成されます。震度5弱以上の地震が発生した際に、集会棟2階会議室に設置され、棟災害対策班の活動を支援する司令塔的な役割を担います。今回、各部ごとに地震発生からの動きを一通りシミュレーションすることで、各部員が、その役割を認識し、災害時の動きを少なからず経験することができました。

実際の災害時には、訓練のように全員が集まれるわけではなく、シーアイハイツに在宅している部員のみで対応する必要があるため、事前に部員全員が一連の動きを共有しておくことは非常に意味のあることと言えます。今回の訓練を通じて見えてきた改善点を反映し

ながら、次年度以降も繰り返し訓練を行い、実際の災害時に機能する組織を作っていければと思います。

居住者および棟災害対策班向けには、地震発生後の棟災害対策本部の立ち上げ、避難確認カードの掲示とその集計、火災警報ベル後の一次避難と参集者の確認など、基本的に従前通りの訓練を実施しました。二次避難場所である鐘の鳴る広場へ移動後は、和光消防署にもご協力をいただき、棟ごとに分かれて、「防火扉・防火シャッター訓練」「避難・救出訓練」「消火訓練」「救護訓練」を行いました。523名の方々にご参加いただくとともに、避難確認カードは昨年度よりも多い1083戸の住戸に掲示いただき、防災意識の向上を図る良い機会になったのではないかと思います。

訓練後に皆様からいただいたご意見については、今後の防災対策本部会議で議論し、次年度以降の訓練および実際の消防・防災活動に展開していきたいと思っております。

最後になりましたが、今回の訓練にご協力いただいた和光消防署の皆様へ深く感謝するとともに、管理センタースタッフ、棟災害対策班および防火・防災協働会議の皆様、ならびに訓練に参加いただいた皆様へ心より御礼申し上げます。

●令和6年(2024年)10月6日(日)消防・防災訓練 参加状況集計表

棟	住戸数	参加戸数	参加戸数率	参加人数	避難確認カード掲示戸数	カード掲示率
A	139	35	25.2%	58	90	64.7%
B	161	45	28.0%	52	113	70.2%
C	132	43	32.6%	50	111	84.1%
D	56	31	55.4%	41	45	80.4%
E	247	62	25.1%	79	162	65.6%
F	170	44	25.9%	31	89	52.4%
G	56	20	35.7%	25	42	75.0%
H	165	46	27.9%	53	107	64.8%
I	216	39	18.1%	53	137	63.4%
J	218	41	18.8%	50	138	63.3%
K	56	26	46.4%	31	49	87.5%
計	1,616	432	26.7%	523	1,083	67.0%

訓練の様子



消防・防災訓練 本部



一時避難場所に



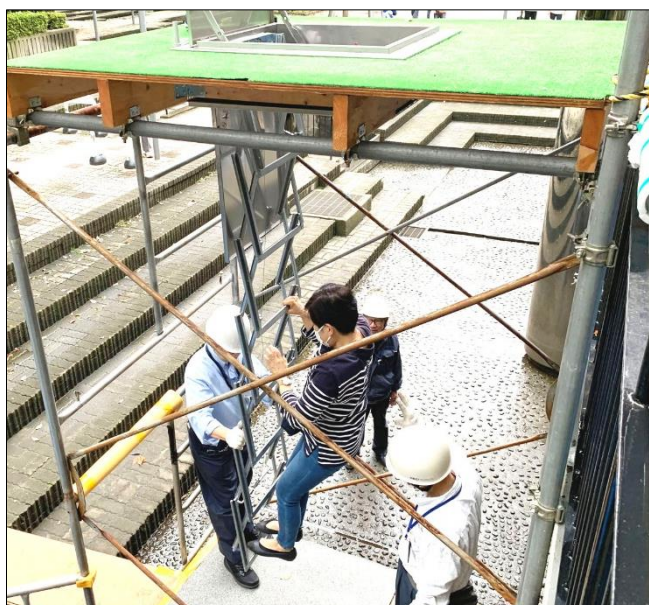
開会式



避難はしご操作訓練



煙の中の避難訓練



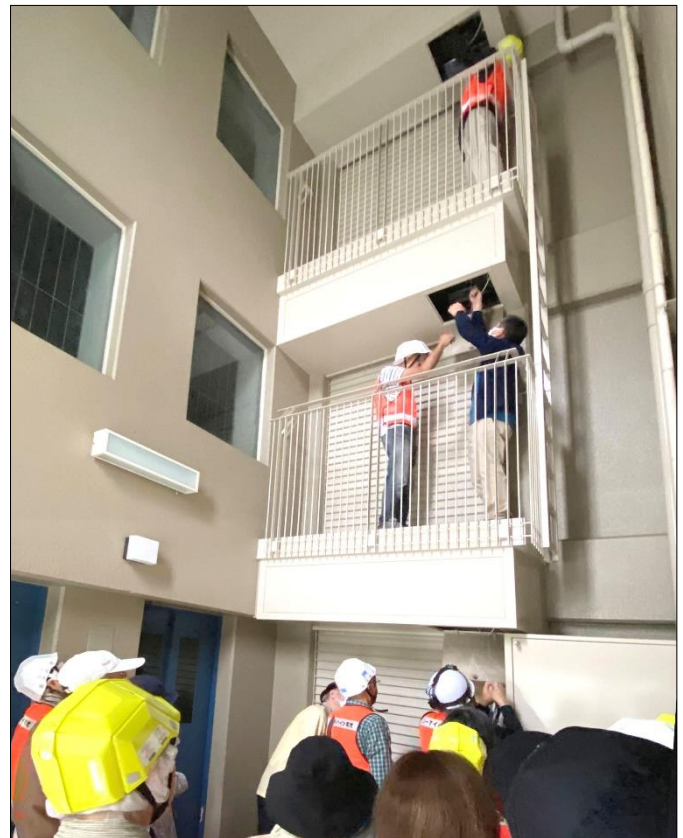
←避難はしご降下訓練 ↑要救護者支援訓練



消火訓練



AED の救命訓練



防火シャッター訓練



玄関扉に掲示



エレベーター禁止



排水禁止



ゴミ出し禁止



はしご車・消防自動車の展示